

県重要文化財 肥前鐘〈相知町医王寺〉

～唐津市相知町黒岩字宇土 医王寺～

肥前鐘は鎌倉時代後期から南北朝にかけて肥前国上松浦山下庄で鑄造された銅鐘で、現在全国に6口の存在が知られ、県下ではこの1口だけである。

銘文によると永和2年（1376）鑄造され彼杵庄父賀志村宇都宮（現在佐世保市宮村神社）に奉納されたものである。総高83.2cm、鐘身高82cm、口径49.5cm。

昭和36年3月24日指定

唐津市相知町黒岩字宇土 医王寺

工芸品

分野 歴史

地域 相知

◎地図・写真・統計資料など



肥前鐘
相知町医王寺

（佐賀県HPより）

◎引用・参考文献（出典）

◆『佐賀県の文化財』

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html